



## 理事長就任の挨拶



令和3年4月より理事長を拝命しました朝倉康善と申します。微力ながら本会の発展のために精一杯の努力を重ねてまいります。会員の皆様、関係の皆様にはご支援ご協力のほどを何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年来の新型コロナ感染症の脅威は本会の活動に大きな影響を与えております。各種大会やイベントの延期・中止、リモート会議の対応など、計画していた活動に様々な制限がかかる中、会員の皆様が少しでもバドミントンを楽しめる工夫を模索してきました。本年度もコロナの影響を受けながらにはなりますが、本来の活動を確実に実践していきます。全体の事業計画は山田前理事長を中心となって取り組んできた、①国体の好成績と1種大会のメダル獲得、②ジュニアの強化と指導者の育成、③会員の拡大の3つの柱を軸に進めていきます。

また、東海総合の愛知県開催やS/Jリーグ開幕戦などの大会も含め、さまざまな活動を予定しています。ニューノーマルへの変化の中で本年度が充実した1年になりますよう、皆様のご協力を重ねてお願ひいたします。



## 県協会年次総会の開催

令和3年3月28日(日)名古屋経済大学名駅サテライトキャンパスにおいて61名の出席のもと開催された。事業報告、各専門委員会、各加盟団体の報告に続き、協議事項では、協会事業計画および専門委員会の事業計画が提案され、決算・予算案共に承認された。なお、開始に先立ち、愛知県バドミントン協会特別功労賞2名、功労賞10名、愛知県スポーツ協会功労賞2名の表彰があった(6ページに記載)。(総務委員長 高桑敏郎)

### 令和3年度愛知県バドミントン事業計画

ア. オール愛知の精神のもと、国民体育大会での複数種別での入賞と第1種大会でのメダルの獲得を目指す



イ. ジュニア特別強化指定選手に対するさらなる強化策を推進し、本県からのジュニアナショナルチーム入りの増強を目指すとともに次世代のジュニア強化指定選手の発掘と強化を図る

ウ. コロナ禍の教訓を生かした、新しい組織運営の構築を図る

エ. ジュニア指導者の養成、拡大を図るとともに中学生の選手強化体制づくりを図る

オ. 会員登録の拡大、とくに中小学校体育連盟と連携し、中学生の登録者数の拡大を図る

カ. 加盟市町村連盟会議の充実と加盟拡大を図る

キ. バドミントンS/Jリーグ2021開幕戦を円滑に開催する

ク. 令和3年度東海総合バドミントン選手権大会を円滑に開催する

ケ. 第71回全日本実業団バドミントン選手権大会の円滑な開催を推進する

コ. 第14回全国社会人クラブバドミントン選手権大会(個人戦)の円滑な開催を推進する

末岡会長挨拶

## 第138回令和3年度春季愛知県新人バドミントン大会

例年なら歓声がこだまする中、3日間にわたって開催される今大会だが、今年は参加選手も少なく静かに、シングルスが令和3年4月3日(愛知県体育館)、ダブルスが4月11日(露橋SC)の2日間で行われた。しかしながら、少数精鋭。今年も変わらず、熱い戦いが繰り広げられた。

### 男子シングルス決勝 長束翔太(大里東ジュニア) VS 山脇弘獎(はりーあっぷジュニア)

山脇選手は勢いの良い攻めで長束選手のミスを誘い1ゲーム目を取ったが、2ゲーム目の長束選手は落ち着きを取り戻し、得点を重ねた。「勝負どころで自分のペースを守りバテないよう仕掛けといった」と言う通り、ファイナルゲームは20分を超える戦いでもしっかりと攻めきる試合をして優勝を勝ち取った。



長束翔太選手

### 女子シングルス決勝 伊藤菜央加(師勝ジュニア) VS 松本紗季(はりーあっぷジュニア)



伊藤菜央加選手

物静かでかわいい少女たちが静かに闘志を燃やしながらの試合展開。お互いの苦手とするところを知っている分、どちらがいつ仕掛けるのか、一瞬たりとも気が抜けずミスが許されない。そんな中、伊藤選手は「粘り強く相手を動かすこと」を心がけ、狙い通りの試合運びで勝利を手にした。

決勝戦は男女とも中学2年生と1年生の対決。勝者はともに2年生。小学生の時から強化合宿などで切磋琢磨しながら実力を伸ばしてきた4人。各々がその時代のトップを飾り、後輩たちからあこがれの存在だった選手たち。小学生は学年ごとの大会が多く、直接対戦することが少なかったので、実力が試された決勝戦はとても見応えがあった。4人を含め準決勝を戦った選手はすべて中学生。今後も目が離せない選手が多くかった。

(広報委員 鈴木由紀江)

### 男子ダブルス優勝 榊原聰真・金子真之ペア(SMAGAN)

3回目の出場で栄冠に輝いたふたりは、身軽で素早い動きを得意とする。低い弾道の強いシャトルを高速で打ち合いながら、前へ前へと攻めていく、所謂インドネシアの選手に多いタイプ。「自分たちの持ち味を出し切れた」と胸を張る。決勝の相手は、準決勝で大学生ペア(松本、荒木)と激しい戦いの末勝ち上がってきた田口智也(NOT-SOY)海老原将人(デンソー西尾)ペア。体格に恵まれ、長い手脚、上背を活かしたスマッシュは威力抜群だ。一進一退の決勝戦、終始押し気味に試合を進めていたのは田口、海老原ペアだったが、最後のひと押しを欠いた。勝負の分かれ目はファイナルゲーム11点後か。大事な局面でサービスフォルト、バックラインアウトなどミスが重なった田口、海老原ペア。対照的に、流れを掴みチャンスで着実にポイントを伸ばした榊原、金子ペアが頂点に立った。



(左) 榊原選手 (右) 金子選手

### 女子ダブルス優勝 伊藤舞衣・渡辺梨沙ペア(SMAGAN)



(左) 伊藤選手 (右) 渡辺選手

組み始めたのは昨年から。ずっと試合がなく今回がデビュー戦だ。全戦危なげない試合運びでダントツの実力だった。「いつも通りできたこと」「前でキッチリ決めてくれるから」と顔を見合わせて笑顔で勝因を語るふたり。2回戦で当たった水野・桑原ペア(長久手ジュニア)には「伸び代を感じる」と余裕の温かい眼差し。新ペアは幸先よく、追い風に乗ってスタートした。

いつもは男子と練習をしているが、最近、SMAGAN女子部を立ち上げたと言う。中心選手として実力も証明した。益々活躍が楽しみだ。 (広報委員 山本真弓)

特集

# 明日へ駆ける



## 総体(インターハイ)県予選

緊急事態宣言下であるが、今年は何とか無事に開催することができた。4月に実施された地区予選の上位者で5月末に県予選大会が行われ熱戦が繰り広げられた。学校対抗戦の優勝校と個人2位までは全国総体に、また団体3位までは東海総体に出場する。全国レベルで愛知県の名を轟かせてほしい。

### [男子学校対抗] 5月23日(日)中スポーツセンター

決勝は圧倒的な力で勝ち上がった第1シード名経大市邨と、混戦を制した岡崎城西の対戦となった。1複阿保・上田、2複青山・大場、1単富田のオーダーで全てストレート勝ちし、支部予選も含め県内では1ゲームも落とさない完全制覇となった。主将の阿保は「インターハイで団体ベスト4以上、個人もベスト8に入りたい」と意気込む。



名経大市邨

### [女子学校対抗] 5月23日(日) いちのみや中央プラザ

順当に決勝進出した城西は、名経大市邨との激戦を制し勝ち上がった星城と対戦した。複は、星城2複の杉原・伊藤が粘り強くラリー戦を勝利し、城西の2単を引っ張り出す意地をみせたが、やはり単は前回王者、城西の強さが際立った。「3-0で勝てないとインターハイ優勝の目標に届かないと考えている。この試合で感じた足りないところ、課題をしっかり振り返り、もう1回気を引き締めてみんなで頑張っていく。個人戦はダブルスもシングルスも城西で埋め尽くせるようにしたい」と久湊(城西)は語った。



岡崎城西

### [個人戦]ダブルス 5月29日(土)メディアス大府／シングルス 30日(日)中SC、愛知工業大学

男子は単複共に準決勝以降は全て市邨同士の対戦となった。先輩と後輩で全国への切符を奪い合うこととなったが、どちらも臆することなく全力を尽くし切った。

女子は城西、星城、市邨の3校で上位を占めた。団体で涙を呑んだ2校の選手たちも上位に残り輝きを放った。単複共に準決勝から先はどの試合もどんなに打ち込んでも簡単には決まらない長いラリー戦が展開され、最後まで予断を許さない激戦ばかりだった。結果は城西以外に、複で市邨の1組が全国への挑戦権を獲得した。

(高体連 上出美佳、大村悠介)

男子				女子		
団体	複	単	団体	複	単	団体
優勝	名経大市邨	阿保・上田(市邨)	富田(市邨)	岡崎城西	久湊・石田(城西)	久湊(城西)
準優勝	岡崎城西	青山・大羽(市邨)	阿保(市邨)	星城	熊谷・尾形(市邨)	梅田(城西)
第3位	豊川	永森・近藤(市邨)	永森(市邨)	名経大市邨	杉原・深見(星城)	河辺(市邨)

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

バドミントンプロショップ  
リーダース グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

(有)リーダース

代表取締役 粕田修光

TEL・FAX(052)703-2767

## 第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会愛知県予選会

令和3年5月1日(土)メディアス体育館おおぶにて、感染防止対策をしっかり行ったうえで開催しました。例年は6年生単・複、5年生単・複、4年生単の5種目の団体戦でしたが、今年度は1複2単で行われたため参加しやすく、多くの団体が全国を目指し活気ある大会となりました。

男子ははりーあっぷジュニアが前大会に続き優勝。前回の全国大会で優勝を経験している選手たちはもちろん、初めて団体メンバーになった選手も「今年も全国制覇するぞ！」と既に先を見据えて気合充分です。女子の優勝はNOCK。初の全国大会出場ながら、優勝を狙って猛練習に励んでいます。 (小学生連盟 鈴木由紀江)



はりーあっぷジュニア

NOCK

## 退任の挨拶

愛知県バドミントン協会  
副会長 山田 順一郎

先ずもって、12年という長きにわたり理事長としての私を支えていただきました皆様に御礼を申し上げます。

平成21年に理事長を拝命して以来、本会の必須課題である「全国に秀でた強い愛知」の創造に向け、強化、普及、指導に対して力を傾け、大過なく私なりに満足のゆく成果を残すことができたと思っております。さらに、理事長就任中に、国際審判員、BWF理事、アジアバドミントン連盟審判委員長、日本バドミントン協会理事の要職を務め、悔いのないバドミントン人生を歩ませていただきました。ここまで来られましたのも、ひとえに会員皆様の温かい寛容のお気持ちがあったからこそと、心より感謝申し上げます。今後も、愛知そして日本のバドミントンの普及、発展のため、朝倉理事長率いる新しい愛知県バドミントン協会を微力ながら支えさせていただき、今日までに私に頂いたご恩に報いたいと思います。本当に長い間ありがとうございました。



## 旭日雙光章受章祝賀会

県協会前理事長(現副会長)である山田順一郎氏の旭日雙光章受章祝賀会(令和2年春叙勲)が令和3年4月24日、ヒルトン名古屋ホテルにて開催する運びとなり、県内の各連盟はもとより日本協会3役をはじめ、親交の深い世界・アジア連盟の国際審判員の面々、愛媛・静岡・三重・兵庫の各協会会长・理事長、各メーカー社長、多数の同窓生など錚々たる顔ぶれが一堂に会し、和やかな雰囲気のもと盛大に行われました。

県協会末岡会長の開会の挨拶から始まり、関根日本協会会长・各来賓からのご祝辞、記念品贈呈に続き、山田氏から奥様へ感謝の花束贈呈の演出で心温まる一幕もありました。祝宴は錢谷専務理事の乾杯を皮切りに、余興の三河万歳や弦楽四重奏も華を添え、上原副会長の一一本締めで結びとなりました。山田副会長、おめでとうございました！

(広報委員長 上枝伸)



山田順一郎ご夫妻

# フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

有心館と春日井レディース

を紹介します。

## ■有心館 ..... (社会人クラブ連盟)

設立は、平成15年秋。桶狭間の戦いで有名な小高い丘にある有松中学校の体育館、その名も有心館を主な練習場にしています。武道家団体のようですが、字体を「館」に変えていい感じのクラブ名にしました。現在7名が在籍ですが、地元密着なのでメンバー以外にも中学生から60代後半の幅広い年代で、しかも男女問わずの12～15名が火・土曜日を中心に楽しく活動しています。昨年来、大会中止はもとより中学校体育館が利用不可となり、練習会場確保も難しく、現在は不定期な活動で苦労しています。

平成30年に社会人連盟に加盟したばかりですが、大会(チーム対抗戦)再開の折には、若手3名のシングルスと実績があるベテランのダブルスのチーム編成で上位を目指します。

近年、有松は「日本遺産」に認定されました。江戸時代の情緒に触れ藍染絞りが風にゆれる町に練習がてら遊びにきませんか？

(有心館 代表 亀鳩彰一)



初打ち会にて

## ■春日井レディース ..... (レディース連盟)

県レディース登録者数133名と名古屋市を除けば県内一大人数で、現在10クラブがあります。バドミントン愛好家がとても多く一人ひとりの名前を覚えるのにかなりの時間を要します(笑)うれしいやら、大変やら、賑やかなことです。毎日いずれかのクラブが色々工夫しながら、またクラブ間を跨いで練習をしています。数年前から競技力を上げる目的で春日井レディースとしての合同練習を始めました。週1回の練習ですが、3時間にわたるハードな練習メニューとなっており、帰りはヘトヘト(?)です。その練習内容を各クラブで共有することで春日井レディース全体のレベルアップにもつながっていると考えます。その成果が徐々に表れてきました。直近の県団体戦に20チームがエントリーし、その中の10チームがそれぞれの部で優勝…と、なかなかの春日井、でしょ！(笑) 春の東海団体戦に繋がる予選会では上位4チームに入り、本戦では優勝カップを勝ち取りました。クラブ対抗予選も常に上位を目指し、全国選手権大会出場は7回。悲願の全国制覇には未到達ながら、準優勝、3位と着実に成果がでています。

この先も、バドミントンが出来ることへの感謝と楽しむ気持ちを持ち続けて、鍛錬していきます。 (春日井レディース 代表 猪股明子)



県団体戦1部優勝チーム

テニス・バドミントン専門店

ラケット  
ショップ **NONAKA**

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号  
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

 YONEX®

# 愛知のホープ

くま がい まな  
熊谷磨菜(名経大市邨高校3年)



小学生で豊川ジュニアに入り、初めてラケットを握りました。メキメキと上達し、スピードのあるプレーを持ち味に県で3位となり、さらなる成長を求めて中学から名古屋市の市邨学園に入学。それから5年、毎日1時間以上の道のりを通学してきました。通学だけでも大変ですが、学校生活では何事にも手を抜かずしっかり取り組んでいます。中学校から高2まで、なかなか満足のいくような結果を残すことができず、思い悩んだ時もありました。しかし、コロナ禍で思うように練習ができるない時期にも地道なトレーニングを続け、フットワークに磨きをかけました。自分の弱点や強化のポイントに正面から向き合い、人一倍努力を続ける姿勢に信頼を得て、チームのキャプテンに指名されました。同学年はライバル校である岡崎城西高校に力のある選手が多く、県で勝ち抜いて全国に行くことは至難の業です。苦しい状況の中、チームを引っ張ってきましたが、残念ながら、学校対抗戦は全国への切符を掴めませんでした。「(全国大会に出場して)絶対に8月までバドミントンを続けたい」という強い思いを胸に第5シードで臨んだ個人戦ダブルスで、バドミントン人生初めての県の代表を勝ち取りました。準決勝では、全国3位の実績の岡崎城西高校、久湊・石田組に惜しくも敗れます。その後の3位決定戦はファイナルゲームで14-19と追い詰められてからの逆転勝利で、2位決定戦はどんなに相手に打ち込まれてもあきらめず絶対にとるという気迫と驚異的な粘りで見事勝利を収めました。幼い頃から、ずっとと目指してきた全国の晴れ舞台。笑顔で日頃の実力を發揮してくれることを期待します。(高体連 大村悠介)

令和2年度 愛知県バドミントン協会表彰	
特別功労賞	
小西修二	(豊田市バドミントン協会副会長)
岩田 崇	(愛知県実業団バドミントン連盟 理事)
功労賞	
森田英樹	(愛知県実業団バドミントン連盟理事)
林 忠明	(愛知県実業団バドミントン連盟理事)
浅井 淳	(愛知県社会人クラブバドミントン連盟常務理事)
後藤功生	(愛知県社会人クラブバドミントン連盟常務理事)
青木康人	(愛知県社会人クラブバドミントン連盟常務理事)
磯部美保	(愛知県レディースバドミントン連盟理事)
柿澤和美	(愛知県レディースバドミントン連盟理事)
井上涼子	(知多市体育協会バドミントン連盟幹事)
榎原郁代	(知多市体育協会バドミントン連盟幹事)
中嶋章敏	(知多市体育協会バドミントン連盟幹事)

## 委員会NEWS

### 競技委員会

主な活動はバドミントンS／Jリーグや東海総合などの大会を組み合わせから当日の競技進行・終了までの運営を滞りなく行い、成功させることです。また、各連盟や市町村と連携を図り、会員のニーズや他県の大会開催状況なども調査し、新たな大会を企画・立案したりもしています。特に試合数の少ないジュニア層の大会提供を模索しています。今年度も一部の大会においては中止を余儀なくされていますが、防止対策を万全に行い、開催できる大会は開催していきます。

(競技委員長 内田公明)

### 西三河のバドミントン専門店

# モリカズ

豊田市山之手3丁目100番地  
☎ <0565> 29-0055

# 連盟NEWS

## 学生バドミントン連盟

学生連盟の主な活動は大会運営です。今年度は様々な大会が中止になってしましましたが、会員から大会開催を求める声も多く、感染拡大防止のガイドライン、当日の換気やソーシャルディスタンスの確保などを徹底し、令和3年4月5日～8日、19日～22日(個人戦)天白SCにて、第69回東海学生バドミントン選手権大会を無事に開催致しました。今後も感染状況を考慮しながら、慎重な対応と円滑な運営を心がけて活動していきます。

## 中小学校体育連盟バドミントン部

昨年度の活動は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。その時々の状況を踏まえ、議論を重ね、生徒の安全を第一に考え、様々な大会を残念ながら中止しました。しかし、学校の部活動が再開されたのをきっかけに、練習を重ねてきた生徒たちが力を発揮できる機会を設けたいと、大会開催の実現に向けて協議を重ね、手指消毒や人数制限などの感染症対策を徹底した上で、何とか4月24日(土)と25日(日)に県中学生大会を実施しました。今後も、生徒の安全を確保した上で大会を開催していくよう取り組んでいきます。

## 小学生バドミントン連盟

### ◆第22回ダイハツ全国小学生ABC大会愛知予選会

開催を危ぶまれたが、令和3年5月15日(土)常滑市体育館にて、大会関係者の一層強化した感染防止対策により無事開催しました。全部の学年が初優勝の選手ばかり。初舞台の全国大会では、思い切りよく力を出し切って、1つでも多く勝ち進んでほしいと願っています。

種目	優勝
男子単Aクラス	石川 隼(はりーあっぷジュニア)
男子単Bクラス	玉城 春真(西尾ジュニア)
男子単Cクラス	青山 久都(はりーあっぷジュニア)
女子単Aクラス	樋尾 雪玖(大里東ジュニア)
女子単Bクラス	佐々木 きい(T-Jump Jr.)
女子単Cクラス	渡邊 世怜菜(大里東ジュニア)

## 高等学校体育連盟バドミントン部

新学期になり高校総体のシーズンが始まった。昨年度は学校も休校になる中、予選から全てが中止となり、やりきれない思いで引退していった生徒がたくさんいた。今年度も緊急事態宣言下となり心配されたが、感染症予防対策を徹底しながら各区予選、県予選までやり遂げることができた。今後、6月に三重県鈴鹿市で東海総体、8月に富山県で全国総体が予定されている。無事に開催され、県の代表となった生徒たちが活躍してくれることを願う。また、部活は新入生を迎える時期である。コート内外は、素振り、フットワークなど基礎的な練習に取り組むバドミントンを始めたばかりの生徒たちで溢れかえっている。どの学校も男女を問わず盛況で、コロナ禍でも変わらぬバドミントンの人気を感じさせてくれる。彼らが何の不安もなく思い切り競技に打ち込める日が一日も早く戻り、高校生活の中で大きな成長を見せてくれることを祈りたい。

## 市町村だより

### 一宮バドミントン協会

#### ◆一宮市民秋季バドミントン大会

3月28日、一宮市総合体育館でコロナ対策を行い開催しました。参加者数75ペア。今回は参加者が少なく、審判が足りない状況になったり、シャトルの飛びが一定せず、ラインジャッジに戸惑う選手が多数いました。

種目	優勝	準優勝	3位	
混合複1部	稻川 義樹 柳瀬 麻里	齋藤 侑氣 安藤 悠花	鷲見 直紀 永田 真菜美	
混合複2部	野口 和輝 福重 美紀	遠藤 博史 上田 幸	河合 将司 蒲 奈美保	田中 均 平下 ゆう子
混合複3部	大重 宣仁 伊藤 智美	土屋 幸紀 國島 虹葉	宮地 有紀 正力 唯	小川 昇太 内藤 優花
混合シニア	東 太朗 東 工ミ	宮本 恵司 澤木 美恵子	稻葉 正法 児山 初子	松本 博 栗林 直美

### 勝つための本物

**GOSEN**  
www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社／TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

## ● 知多市体育協会バドミントン連盟 ●

### ◆第93回市民バドミントン大会

令和3年5月9日(日)にメディアス体育館ちたで、熱戦が繰り広げられました。

種目	優勝	準優勝
男子ダブルス 1部	森田 貴士(大興寺) 家垣 昇佑(大興寺)	神之田星斗(大興寺) 神谷 真徹(大興寺)
男子ダブルス 2部	浜野 真光(リバイバル) 積光 優(リバイバル)	御園 豊(旭桃BC) 御園 巧(旭桃BC)
男子ダブルス 3部	藤井 哲也(知多) 橋本 翔(知多)	杉山 匠(ドリブン) 鈴木 淳也(ドリブン)
男子ダブルス シニア	名取 和成(岡田BC) 安藤 芳徳(岡田BC)	北川 利光(東海シャトルズ) 尾関 徹(東海シャトルズ)
女子ダブルス 1部	上村ますみ(新田) 木下 明子(新田)	
女子ダブルス 2部	中村 柚香(つづじ) 田中 愛美(つづじ)	松浦 晴美(岡田BC) 磯村 江美(岡田BC)
女子ダブルス 3部	山田かねみ(旭桃) 深川みゆき(旭桃)	浅井佐友里(つづじ) 田中 直美(つづじ)
女子ダブルス シニア	伊藤 綾子(新田) 竹内ひろみ(新田)	小嶋 真弓(嵐) 森谷 信江(嵐)

## ● 春日井市バドミントン連盟 ●

感染対策に苦労はありましたが、昨年度末から今年度始めにかけて、春日井オープン、小学生オープン、クラブ対抗春季大会等を開催しました。「試合ができることがうれしい」「感謝している」など多くの喜びの声や笑顔に励まされ、今後も多くの人に協力してもらいながら、安全な大会運営に努めています。

## ● 豊田市バドミントン協会 ●

### ◆第37回市民総合バドミントン大会

令和3年4月25日(日)スカイホール豊田で開催されました。例年に比べ参加人数は若干、少なかつたものの、熱戦が繰り広げられ大いに盛上りを見せました。

男子の部	優勝チーム	女子の部	優勝チーム
1部	BSモリタ	1部	G.spank
2部	シャトルまかせ	2部	バディダス(A)
3部	堤クラブ	3部	チ~ムAT
4部	温泉ズ		
5部	フェニックスサンズ		



男子1部優勝：BSモリタ



女子1部優勝：G.spank

## 審判連載

### 「コートを離れる際の規定」

水野 慶介



これから暑い季節。着替えなどでコートを離れる際の規定はご存知でしょうか？競技規則第16条第5項(2)で「インターバルを除き、マッチ中主審の許可なくコートを離れてはならない」と定められています。つまり、インターバル中は主審の許可なく、離れることができるのです。但し、20秒のコール前までにコートに戻らないといけないのでご注意ください。

さて、10年余の長い間、審判連載を担当してきましたが、今回が最後になりました。自身が主審業務を行っていた時、試合中にボヤ騒ぎがあった経験があり、思いがけない事が起きた時にも慌てないで対応できるよう様々な観点からの執筆を心掛けてきました。色々な知識を蓄える一助となったでしょうか。次回からは、違う視点からの連載が始まります。引き続き、お楽しみに！

NEW

### 新公式サイトが リニューアルされました！

- ・トップに「大会情報」と「お知らせ」をわけて掲載。
- ・スマホにも対応し、過去の大会も検索しやすくなりました。



<https://www.badminton-aichi.com/>

## 編集後記

コロナ禍でも季節は巡り、新しく前に向かうことが多い時期になりました。県協会も役員改選でフレッシュ(?)な顔ぶれが揃いました。かく言う私もそのひとり、広報委員長を拝命した上枝です。

僅かながらですが、さっそく編集活動に携わってみて、改めて委員長の重責を実感しています。岩田前委員長のように各方面への繋がりを大切にしながら、活動の幅を広げていきたいと思っています。ご意見、ご要望を是非お寄せ下さい。

(広報委員長 上枝 伸)

## 連絡 投稿

〒477-0033 東海市中の池6丁目2-27

広報委員長 上枝 伸

携帯 090-2938-2868

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス  
<https://www.badminton-aichi.com/>

Eメールアドレス info@badminton-aichi.com